

鼎談

～法人設立5周年を迎えて～

2020年1月22日に一般社団法人日本床矯正研究会が設立されて、今年5周年を迎えました。今回は理事長の藤井秀紀先生、副理事長の米崎美桜先生、初代理事長の花田真也先生の3名で法人設立からこれまで、そして法人のこれからについて語っていただきました。※ちなみに3名で話すのは対談ではなく、鼎談(ていだん)と言うそうです。

【副理事長】

米崎美桜 先生

【理事長】

藤井秀紀 先生

【監事】

花田真也 先生



花田:法人設立から昨年まで私、花田真也が理事長を務めさせていただきましたが、この4年間で法人として一通り組織化でき、組織で運営が可能になりましたので、昨年春から藤井秀紀先生に理事長を引き継いでいただきました。昨年10月には鈴木設矢会長が病気療養のため退任されました。今日は法人化後を振り返ってみたいと思います。

法人設立当時について

花田:まず私が理事長として組織づくりをしなければならないので、「どなたにお願いして役員になっていただぐか?」からのスタートでした。「せっかく全国に会員がいるので、北海道・東北、関東、中部、関西、中四国、九州の6地区それぞれから理事1名と評議員2名をお願いするはどうですか?」と顧問弁護士である宗像先生のアドバイスをいただき、考えると、の方にお願いしよう!と、地区ごとに自分でも驚くように頭に名前が浮かびました。福岡でフォローアップコースやスタンダードコースを開催し、長年懇親会で親交を深めてきたおかげですね(笑)藤井先生と米崎先生は声をかけられた時はどんな感じでした?

藤井:もうずいぶん前なので、詳しく覚えていないですね(笑)。あーそうなんだ。はい、はい、分かりましたーという感じだったと思います。地方役員はやるけど、副理事長も。(うう、ううなんだという感じでした)。

米崎:急にお電話をいただいて、エーッ!何だろうって思いました(笑)。それまで花田先生からお電話いただくことはなかったので。直々にお電話いただいたことに感激して、理事の依頼を断る選択肢はないなど覚悟を決めました。

花田:役員をお願いする先生には直接お話をかけたので、すぐにお会いできない先生には全員電話したんです。緊張しながら(笑)皆さんが一つ返事で受けてくれたので、とても嬉しかったのを覚えています。



設立から5年間を振り返って

花田:鈴木会長の意向を大切にしながら、新たな取り組みを色々行ってきました。その一つが全国大会です。これまで中規模のセミナー会場ばかりでしたので、大きなホールで鈴木設矢先生に講演してもらいたい、多くの会員と時間を共にしたいという想いから、第1回全国大会を企画しました。新型コロナ感染拡大があり、延期になりましたが、当時理事の田中康雅先生のご尽力で東京有楽町の朝日ホールで第1回目を開催することができました。その後も毎年開催を続けて、今年は大阪で第4回全国大会となります。

藤井:定期的に全国大会が開催できるようになったのが良かったですね。

節目、節目で年一回行うというのは正式なスタイルグループらしくなったと思います。

それまでは、どんな会員がいるのかよく分からなかったのですが、全国のアクティブな会員が一堂に集まる機会ができる親交を深めるようになったのも良かったです。

米崎:私も、法人化してきちんとした組織になったので、他の学術団体のように学術大会を開催するべきだと考えていました。1回目はかなり手探りだったのですが、役員の皆さんがすごく協力的で一生懸命手助けしていただけて、やっとチームになれた!という気持ちになりました。このメンバーとなら良い会を作りたい!と感じました。

花田:法人化するまでは、主幹の鈴木設矢先生と副主幹の私が講演して、会員の先生方が聴くスタイルでしたので、他の会員の先生方にも発表していただき、双方向のやり取りをしたい、懇親会で親交を深めて会員同士のつながりを作りたい。そういう想いから6地区でフォーラムを開催するようになりました。

藤井:それまでは、福岡でのスタンダードコースの懇親会ぐらいしか会員同士の懇親を深める機会がありませんでしたので、各地区や地区をまたいで懇親を深めることができる地域フォーラムは画期的だと思います。フォーラムのセミナーその物も意義があるのですが、セミナー後の懇親会が大事な気がします。

米崎:私が床矯正を始めたばかりの頃、花田先生が福岡で行われていたフォローアップコースとその懇親会に参加したことで大変助けられました。そのような会を福岡以外の地区で行なうことはとても意味があると思います。もっと多くの地元の会員とスタッフに参加していただけるように今年から参加費を下げたり、内容をより役に立つものにすることも検討しています。

花田:会員の双方向のコミュニケーションとしては、随時Facebookグループでの症例相談、月に1回のオンライン症例検討会も行なうようになりましたので、ずいぶん色んな会員の先生が発信してくれるようになって嬉しいです。

日本小児歯科学会大会での発表も会員から有志を募って毎年続けています。2019年から2024年の5年間で36演題発表しています。

研究会のこれからについて

藤井:床装置だけでなく、トレーナーやアライナーなど動的矯正のマテリアルが多様になってきているので、それを含めた総合的な小児矯正を考えいくべきだと思います。

花田:その通りだと私も思います。バイオロジカルな治療が主体で、メカニカルな治療は補助的なものなので床装置だけにこだわらない、必要ならプラケットも使用するというのが昔からの当研究会のスタンスですからね。

米崎:若い先生方が大事だと思っていますので、20代30代の先生からも選ばれ支持される研究会でありたいと思っています。現在、若手勉強会の準備をしています。

花田:次の世代へ繋いでいく事はとても大事ですね。私の年代はこれから医院継承について考える世代になってきましたので、そのような話題も皆さんと共有していきたいと思い、今年は床矯正で上手くいく医院継承のセミナーも企画しています。

鼎談、どうもありがとうございました。
今年もどうぞ研究会をよろしくお願いします。

理事長挨拶



理事長 藤井秀紀
HIDEKI FUJII



床矯正研究会会員の皆様あけましておめでとうございます。
本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

今年のお正月は昨年のような災害等がなく静かな幕開けでした。しかし、私たちを取り巻く日本の情勢を見ると大きな変革期に入っているように思います。2025年問題だけでなく保険に小児発達不全の取り組みが導入されるとは10年前には想像もできなかったことです。また、コンピューターによる医療支援がどんどん進歩してきています。AIが診断し治療計画を立てていくなんて夢物語ではなくなりました。

そこまでいかなくとも現在CTで3D画像を用いて診断することは珍しくもなんともないですし、うちの医院では補綴、矯正に限らず「印象」という作業はどんどん減ってきてスキャンに置き換わってきています。そして矯正前に「矯正後はこうなります」という未来像を提示できるようになりました。これも10年前にはなかったことです。

本会も変革点に来ていると考えています。変わっていくべきもの、変わらざるを得ないもの、変わらないもの、変えちゃいけないものをしっかりと見極めていきたいと考えます。ダーウィンの進化論にも「強いものが生き残るのではない、変化し適応できるものが生き残る」とあります。

日本床矯正研究会の変わらないものはバイオロジカル重視の姿勢です。小児は完成形でなく成長途中ですからプラモデルのように歯の位置を変えて良しくなく、この先の成長を見据えながら発達を妨げている要因を改善し正常な発育のラインに戻していくことが主体であって、メカニカルに萌出スペースを確保する方法はあくまでも補完要素にすぎません。本会では拡大床装置を使うことが多いですが、アライナーやトレイナーでも構わないわけです。私たちは会員の皆様と共に「より健やかな小児の発達」のために何が必要かを考え、最適な方法を研究していきたいと考えています。

さて、今年も各地域でフォーラムを行います。会員のみのクローズな会ならではのぶっちゃけ話とか、今更聞きにくい初步的な質問や、会には入ったけど1歩踏み出せないとなんでもOKな会です。ぜひご参加ください。

5月25日は全国大会です。今年は大阪！大会長の畠崎先生が腕によりをかけて楽しい会を企画しております。ふるってご参加ください。早期申し込み割引もありますのでぜひスタッフさんも連れてご参加くださいと院内で知識、経験を共有できるので超おススメです。

それでは皆様、フォーラム、全国大会でお会いしましょう。
「小児矯正を文化に！」。

【鈴木設矢先生ご退任のお知らせ】

平素より一般社団法人日本床矯正研究会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
このたび、鈴木設矢会長より、病気療養のため退任されたい旨の申し出があり、2024年10月15日に開催された臨時理事会において慎重に審議のうえ、その申し出を了承いたしました。

鈴木会長には、当法人およびその前身である「床矯正研究会」において、長年にわたり会長として多大なご尽力をいただきましたことに深く感謝申し上げます。会員の皆様におかれましても、鈴木会長のこれまでのご貢献に改めて感謝の意を表し、今後のご療養をお祈りいただければ幸いです。

今後とも当法人の活動へのご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

一般社団法人日本床矯正研究会 事務局



第4回 日本床矯正研究会全国大会のご案内

お久しぶりです。第4回日本床矯正研究会全国大会大会長の畠崎です。

私の住む大阪では、4月から大阪・関西万博が始まります。

その約1ヶ月後に同じ大阪で床矯正の全国大会が開催されます。

スマホのスケジュールには入れて頂いていると思いますが、

念のため概要と演者の紹介をさせて頂きます。

早期申し込み割引もありますので、お早めにお申し込み頂けたら幸いです。

5月…大阪で集まりましょう!!



関西地区評議員
大会長 畠崎清孝



ミヤクミヤクと広げよう床矯正のチカラ 子ども達の口腔機能を育むために

開催日時 2025年5月25日(日) 10:00~16:00

開催場所 大阪 千里ライフサイエンスセンター 5Fライフホール

お申込みは同封のチラシまたは右記QRコードから



講演1



小児の口腔機能障害にどう対応するか – 評価と訓練 –

館村歯科クリニック・TOUCH口腔機能回復室 代表 館村 卓 先生

一般社団法人 TOUCHの代表理事をされている館村卓先生を招聘させて頂きました。

TOUCHとは、医療・福祉・教育の分野で、要介護者(児)の摂食嚥下機能障害(口から食べられない)、音声言語機能障害(言葉が話せない)に取り組まれている方々への支援を行なう一般社団法人です。

口腔生理学、摂食咀嚼嚥下に関わる解剖・生理学、音声言語病理学にもとづいたご講演を多数されています。今回は、口腔機能障害の小児患者をどう評価して、その結果からどう訓練されているのかについてお話し頂きます。

館村先生のお話は、とても面白く、内容がずっと耳に入って来るので、今から楽しみです。

講演2



子育て口育てはまねっこ 乳幼児から安全に食べるお口を育てる 歯科衛生士の立場から出来る事

医療法人中村歯科キッズデンタルパーク 副院長／歯科衛生士 宮坂乙美 先生

愛称「おとみん先生」。NDL mint-seminar 講師をされています。

「おとみんのよくばりレッスン」食育編・口腔機能編や「患者さんにもっと喜ばれる歯ブラシコーディネート術」など著書も多数出版されています。私も拝読しましたが、とても分かりやすく勉強になりました。

今回は、床矯正治療を行う前の時期、乳幼児からお口をどう育てていくかについて、実際、クリニックで行っている指導等をご紹介頂きます。

皆様も、大阪らしく笑う準備万端で、「おとみん節」を楽しみましょう!

講演3



床矯正から総合小児矯正へ – 小児矯正を当たり前の文化に –

日本床矯正研究会 理事長 藤井秀紀 先生

大トリは、我らが理事長に登壇して頂きます。

「行列のできる歯科医院6繁盛のヒミツ」「人はなぜ歯科医院に行くのか?」など著書も多数出されており、CHP研究会や1D、船井総研、Dentist+等各セミナーの講師もされ、他方面でご活躍されています。

今回は、床矯正は勿論ですが、小児矯正全般的なお話しをして頂きます。

(関西地区評議員 畠崎清孝)

関西地区 床矯正フォーラム大阪

2024年9月29日(日) KITENA新大阪



プログラム1 安達純也先生



プログラム2 スタッフの悩み…みんなで考えよう



プログラム3 鄧天薰先生



令和6年9月29日に行われた、関西フォーラムについて報告します。

当日は110名を超える、先生方やスタッフの皆さんにご参加頂きました。関西フォーラムの特徴として、参加者の8割がスタッフ…ということでスタッフの皆さんにも、会員先生方にも参加して良かったなあ～…って思って頂けるような企画を用意しました。

プログラムは3本立て！

プログラム1は、兵庫県朝来市で開業されている安達純也先生の症例発表。下顎が後退し、バイトが深い症例をご提示頂きました。拡大床による歯列拡大後、バイトプレートを応用して、咬合の改善を試みた症例でした。初診・治療途中・現在の患者様の資料もしっかり採られていて素晴らしい症例発表でした。発表後、理事長の藤井秀紀先生、監事の花田真也先生からコメントを頂き、安達先生だけでなく、参加者全員勉強になったと思います。

プログラム2は、今回の目玉企画、「**スタッフの悩み…みんなで考えよう**」。

事前にGoogleフォームで、床矯正治療に携わって「今、困っていることや悩んでいること」や「嬉しかったこと」などのアンケートを取りました。それをスライドにして、私がある程度の答えを用意して進行し、途中、花田先生と藤井先生、会場の先生方からコメントを頂きました。今更聞けない初歩的な内容等もあり、新人スタッフにはいい勉強になり、ベテランスタッフには、いい復習になったのではないかと思っています。

なかでも好評だったのが、「チャットアプリ」を利用して、その場で質問を受け付けたことです。手を挙げて質問するのは勇気が要りますもんね！たくさんの質問が集まりました。

最後に、「床矯正に携わって嬉しかったこと」をムービーにまとめて、流しました。参加されたスタッフの皆様が本当に子ども達に親身になって接しているんだなと感激して、このプログラムを締めくくりました。

そして大トリ、プログラム3は、鄧天薰先生のパフォーマンス（発表）！演題は「**私とあいべ体操**」。

なぜか、スキヤドマン・ジョンを熱唱しながら登場。元々滑舌が悪かった鄧先生が、あいべ体操のお陰で、良くなつたとアピールの為の熱唱。元々の鄧先生の滑舌の悪さを知らない会場は、やや盛り上がり。

発表内容はご自身のご子息様を治療した症例。元々3級傾向だったお子様を、あいべ体操を含む機能訓練と床矯正で治療された発表でした。鄧先生なりにその都度考えながら、色んな装置を使いながら治療に当たっている姿は、床矯正研究会創始者・鈴木設矢先生の言われる「エスプリ」を継承しているかのごとくでした。

治療経過的には、まだまだこれから治療が必要ですが、藤井先生・花田先生からは、「顔つきが良くなっている」、「親としてお子さんに良いことをあげたんじゃない」というコメントを頂きました。

最後は、2曲目、CreepyNutsのヒット曲「Bling-Bang-Born」の熱唱でメダリスト。

私の作った、感動ムービーが完全に消えてしまいました。

今後、関西フォーラムは、会員の症例発表を行いつつ、スタッフ教育の部分に重心を置く方針で来年度も開催したいと思っています。

次回も多数のご参加をお待ちしています。（関西地区評議員 畑崎清孝）

関東地区 床矯正フォーラム東京

2024年12月15日(日) 大井町アワーズイン阪急



奥平晴子先生



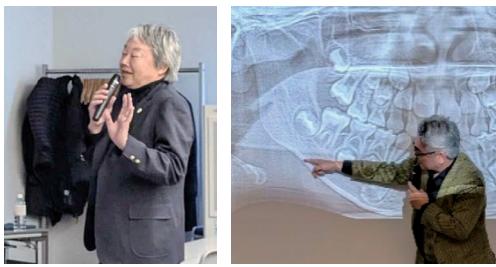
藤井秀紀先生



中村健先生



樋田秀一先生



田中康雅先生

花田真也先生



年末の多忙な令和6年12月15日(日)、フォーラム東京を東京大井町アワーズイン阪急会議室にておこなわせていただきました。

開始冒頭にて、奥平晴子先生(鈴木設矢先生ご令嬢)が現在の鈴木先生の近況をお話してくださり、会長をご勇退した後も精力的にご活躍しているご様子、お誕生日の動画等を紹介していただき、ご健在なお姿を伺うことができました。

今回は研究会会員である、Ken歯科 中村健先生・三ツ境スマイル歯科 樋田秀一先生、2名の先生が矯正治療の中で難症例といわれる開咬症例の発表をおこない、それを藤井先生・花田先生の対処方法を参考にフォーラム参加者の意見も踏まえ検討するなど、有意義なものとなりました。

ご存じのように、FMAが30°を超えると難症例となり、遺伝的な要素・姿勢・呼吸等、矯正装置だけの治療では改善せず、BFTを積極的におこなうことが望まれますが、成長期になると学校行事(勉学や部活等)が忙しくなると反抗期を迎え、BFTを中断又は継続的に行うことが難しくなることが予測されます。早期の改善と長期にわたる経過観察が必要であることが多い難しい症例ですが、今回のフォーラムで、いかにして難症例になるのを回避することができたかのターニングポイントを惜しみもなく発表してくださった中村健先生・樋田秀一先生に、参加者一同大変感謝しています。

また、研究会指導医である田中康雅先生にもご参加いただき、早期介入の有効性と咀嚼の重要性、装置の調整方法について、ご教示くださいました。

花田先生には、FMA以外にもパノラマの角度によって難症例を判別する方法をご講義いただくなど、とても充実したフォーラムとなりました。

講演会後のアンケートでは「満足度100%」との評価をいただくほか、「今回聞いた内容を、臨床に役立てられそうですか?」という質問にも、「早速やってみたい」との評価を全回答者からいただいております。

今回の満足度は?

満足度
100%

改めまして、師走の忙しい時期にご参加していただきました研究会会員のみなさま、ならびに運営にご協力くださった理事・評議員・サポートーのみなさまに感謝の意を表します。

次回のフォーラム東京は令和7年9月28日に開催予定です。

(関東地区理事 大谷泰治)

『知的財産(権)』、 「著作権」とは何か



1 近年、『知的財産(権)』という言葉を頻繁に耳にするようになりました。『知的財産(権)』には、「特許権」や「著作権」、「ノウハウ」などが含まれます。

インターネットの普及により、私たちが暮らす社会では、多くの文章や画像(写真)が、ものすごいスピードで、世界中を飛び交っています。例えば、ウェブサイトの記事を「コピペ」する、メールで画像を送受信する。これらの経験がない人はいないと思います。ただ、文章や画像も「著作権」の対象となります。それゆえ、これらの行為は他人の「著作権」を侵害する可能性があります。

このように、あまり意識をしていないだけで、先生方の業務や日常生活の中には、「著作権」その他の『知的財産(権)』が深く入り込んでいます。

2 『知的財産(権)』という考え方は、そもそもイレギュラーなもので

すなわち、法律の世界では、万物は『ヒト』と『モノ』に区別されます。『モノ』のうち手で触(さわ)れるもの(有体物)が「物」です。そして、『知的財産(権)』の対象となるのは、『ヒト』ではないので『モノ』です。また、有体物ではないので「物」ではない『モノ』です。

「物」に関しては、『ヒト』がそれを支配する権利、「所有権」が認められます。他方、「物」ではない『モノ』は、誰でも自由にそれを利用することができる。これが原則です。『知的財産(権)』という考え方はこの原則に反しています。

3 『ヒト』は、身体を使って「物」を作り出します。それだけではなく、精神活動によって「物」ではない『モノ』も生み出します。『ヒト』がその精神活動によって生み出した『モノ』、いわば『知的創作』の中には、一定の財産的な価値を有する(その利用等によって利益を上げることができる)ものがあります。このような『知的創作』は『知的財産』と呼ばれます。

そして、『知的創作』についても、「物」と同様に、一定の範囲で法律による保護(端的にいえば、「所有権」類似の権利)を認める必要がある。『知的財産(権)』は、このような考え方を支えられています。

4 画像でも文章でも、思想や感情を表現したものは、『著作』と呼ばれます。ただ、『著作』であればすべて法律による保護が認められるわけではありません。上記のとおり、法律による保護が認められるのは、あくまでも『創作』された『著作』に限定されます。この『創作』された『著作』が「著作物」です。

そして、「著作権」は「著作物」を支配する権利です。「著作権」を有する『ヒト』(「著作権者」)は、「著作物」を独占的に利用することができます。反面、「著作権」を有しない『ヒト』は、「著作権者」の許諾を受けてこれを利用することができるにすぎません。

このように、「著作権」は「著作物」であることを前提にして認められる権利です。先ず「著作物」があって、それを支配する権利が「著作権」なのです。

5 「著作物」であるかどうかは、『ヒト』が『創作』したかどうかによって決まります。下手な画像でも稚拙な文章でも、『創作』されたものは「著作物」です。そして、「著作物」であれば、当然に「著作権」が認められます。特に登録等を行う必要はありません。それゆえ、下手な画像に修正を加えて美しい画像にする、稚拙な文章に加除訂正を加えて美文にする。これらの行為は、いずれも「著作権」を侵害するものです。

ウェブサイトに掲載されている『モノ』は、多くの場合、誰かが『創作』したもので。自分以外の『ヒト』が「著作権」を有している、と考えるのが適切でしょう。

そして、ウェブサイトは『ゴミ捨て場』ではなく『保管庫』です。先生方におかれでは、勝手に持ち去ることは『犯罪』であると考えて、行動をする必要があります。



弁護士

宗像 雄

YU MUNAKATA

一般社団法人 日本床矯正研究会

顧問弁護士

関谷・宗像法律事務所

今後の行事セミナー案内

第4回 日本床矯正研究会 全国大会

案内同封

【テーマ】 ミャクミャクと広げよう床矯正のチカラ～子ども達の口腔機能を育むために～

今回も早期申込でお得になるチケットをご用意いたしました。歯科医師の先生はもちろん、コ・デンタルスタッフだけの参加も歓迎します。ぜひ多くの方にご参加いただきたく、お説明あわせの上お申込みください。



開催日 5月25日(日) 10:00～16:00

講師 講演1「小児の口腔機能障害にどう対応するか」－評価と訓練－

開催地 大阪 千里ライフサイエンスセンター

館村歯科クリニック・TOUCH口腔機能回復室 代表 館村 卓 先生

5Fライフホール

参加費 [早期割引] 4/6までのお申込み

講演2「子育て口育てはまねっこ」

会員 16,500円 スタッフ 7,700円

乳幼児から安全に食べるお口を育てる 歯科衛生士の立場から出来る事

[通常申込] 4/7～5/19までのお申込み

医療法人中村歯科キッズデンタルパーク 副院長/歯科衛生士 宮坂乙美 先生

会員 22,000円 スタッフ 11,000円

講演3「床矯正から総合小児矯正へ」－小児矯正を当たり前の文化に－

一般社団法人日本床矯正研究会 理事長 藤井秀紀 先生

2025年度 床矯正フォーラム

開催日 3月2日(日) 10:00～13:00



開催地 名古屋 ウインクあいち



日常臨床の素朴な疑問にフォーカスをあてて、日頃すぐ聞けないことを、藤井先生、花田先生はじめ指導医の先生達に相談できる絶好の機会です。一方通行の講演会ではなく、双方向参加型の勉強会で、ご自身が悩んでらっしゃる症例相談も可能です。

どのように集患したらいいのかわからない、スタッフにどう教育すればいいのか、などのマネジメントやマーケティングの相談まで、もちろん受付いたします。

福岡

4月13日(日) 10:00～13:00
福岡朝日ビル

札幌

6月29日(日) 10:00～13:00
北農健保会館

広島

7月13日(日) 10:00～13:00
エールエールA館

東京

9月28日(日) 10:00～13:00
アワーズイン阪急(予定)

大阪

11月16日(日) 10:00～13:00
新大阪丸ビル別館

参加費 各日 会員、スタッフともに3,300円

【申込ページ】

2025年度 床矯正博多フェス

開催日 8月31日(日) 10:30～16:30

開催地 博多 福岡県中小企業振興センター

2025年度 オンライン入会コース

2025年度のオンライン入会コースは3度の開催となります。

会員の方は特別価格で受講可能です。また、お知り合いの方に入会をお勧めください。



受講料 会員特別価格 20,000円

第1回

4月3日(木) Part.1(総論)
ライブ配信講義 4月4日(金)～4月24日(木)まで録画視聴可能4月24日(木) Part.2(各論)
ライブ配信講義(録画視聴不可)

第2回

8月7日(木) Part.1(総論)
録画配信講義 ～8月28日(木)まで視聴可能8月28日(木) Part.2(各論)
ライブ配信講義(録画視聴不可)

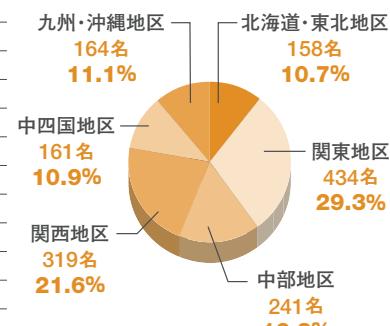
第3回

11月20日(木) Part.1(総論)
録画配信講義 ～12月11日(木)まで視聴可能12月11日(木) Part.2(各論)
ライブ配信講義(録画視聴不可)

会員動静

総会員数 (2025年1月1日現在) 総会員数 1479名

北海道・東北地区	関東地区	中部地区	関西地区	中四国地区	九州・沖縄地区
北海道 56	茨城県 18	新潟県 17	滋賀県 17	鳥取県 12	福岡県 84
青森県 19	栃木県 20	富山県 10	京都府 31	島根県 6	佐賀県 9
岩手県 14	群馬県 26	石川県 6	大阪府 161	岡山県 31	長崎県 14
宮城県 35	埼玉県 69	福井県 12	兵庫県 78	広島県 42	熊本県 20
秋田県 5	千葉県 46	山梨県 4	奈良県 20	山口県 14	大分県 17
山形県 14	東京都 169	長野県 16	和歌山県 12	徳島県 9	宮崎県 7
福島県 15	神奈川県 86	岐阜県 20		香川県 16	鹿児島県 8
		静岡県 25		愛媛県 24	沖縄県 5
		愛知県 109		高知県 7	
		三重県 22			



新規入会者 (2024年7月1日～2024年12月31日)

【北海道】かのう歯科小児歯科クリニック 加納康裕／医療法人社団 大内歯科医院 大内学／太平歯科医院 渡部哲也／ファミリーデンタルクリニック 木下裕貴／医療法人 MUSASHI 武藏デジタルクリニック 武藏章 【岩手県】コアラ歯科 楠山義浩 【宮城県】ママと子どものはいしゃさん仙台上杉院 高見澤哲矢
【茨城県】河野歯科医院 河野 聖也／リノデンタルオフィス 及川布美子 【栃木県】医療法人 水沼歯科医院 水沼秀樹 【群馬県】野中歯科 矯正歯科 野中幸治
【埼玉県】ひろ歯科医院 金村弘成／高田歯科医院 八戸美保／鴻巣ファミリー歯科 木村怜／医療法人社団にこにこすまいるたきの歯科 山本達也／
ふじさわ歯科クリニック 大江怜央奈 【千葉県】みやじま歯科 高橋和代／ひかりの森歯科医院 松岡愛／柏いろは歯科おとなこども歯科 齋藤五月
【東京都】両国Ai歯科クリニック 南川彰／きら歯科クリニック 吉良信史／日本橋馬喰町デンタルクリニック 和田祥子／若井歯科医院 若井広明／
いばた歯科 井畠信彦／下北沢おとなこども歯科 大杉聖子／菊竹歯科医院 菊竹啓貴 【神奈川県】湘南なぎさ歯科 鈴木淑子／
田園都市歯科シニア口腔ケアクリニック 桑澤彰／医療法人社団高松歯科医院 高松朋矢／医療法人GOOD T あらかわファミリーデンタル 荒川勇喜
【新潟県】医療法人社団佐々木歯科医院 佐々木裕道 【岐阜県】岩島歯科医院 岩島広明／みらいファミリー歯科 城山英之／うえだ歯科医院 上田祐司
【静岡県】高塙歯科医院 高塙紘正 【愛知県】つづき歯科 都築秀幸／一宮なばな歯科医院 三宅佑弥／医療法人感誠信 米津歯科医院 新美卓也／
なの花おとなこども歯科 杉浦俊彦 【滋賀県】久保デンタルクリニック 久保貴幹 【大阪府】医療法人守園会 野上歯科クリニック 野上祐一／
クレセントデンタルクリニック 神田 恵／おおしデンタルクリニック 小原直／おおはし歯科医院 大橋保彦／はなでん おとなこども歯科 松井デンタルクリニック 松井秀行／
いまと駅前歯科クリニック 藤平智広 【兵庫県】医療法人社団松本矯正歯科 松本高明 【島根県】くろみ歯科医院 多田聰
【広島県】宮崎歯科クリニック 宮崎純一郎／もりした歯科クリニック 森下真行／あおぞら歯科クリニック 芳賀保明 【愛媛県】たなべ歯科クリニック 田邊康宏／
坂田歯科医院 藤村枝里香／坂田歯科医院 今川公平 【福岡県】なのはな歯科クリニック 野田謙史／グリーン総合歯科医院 津本久美子
【佐賀県】のりこ歯科医院 藤本慎子 【熊本県】AYA DENTALHOUSE 西坂文／nina Dental Clinic 川村順子 【宮崎県】上山歯科医院 上山貴史
【沖縄県】おきなわ矯正歯科 神谷規明

(敬称略)※勤務医の会員様は氏名のみにしています。

2024年後期 日本床矯正研究会の活動実績 (2024年7月1日～2024年12月31日)

セミナー

2024年7月7日	床矯正ベーシックセミナー	2024年9月29日	床矯正フォーラム大阪
2024年7月18日	オンライン無料セミナー	2024年10月6日	床矯正スキルアップセミナー
2024年7月28日	床矯正スキルアップセミナー	2024年10月10日	オンライン無料セミナー
2024年8月4日	床矯正スキルアップセミナー	2024年10月27日	床矯正スキルアップセミナー
2024年8月7日	オンライン入会コース Part.1	2024年10月31日	オンライン入会コース Part.1
2024年8月29日	オンライン入会コース Part.2	2024年11月28日	オンライン入会コース Part.2
2024年9月8日	床矯正スキルアップセミナー	2024年12月15日	床矯正フォーラム東京

会議(zoom)

2024年7月9日	理事会
2024年10月8日	理事会
2024年10月15日	臨時理事会

事務局より

風に冷たさの残る浅春の折、皆様いかがお過ごしでしょうか。

2024年後半は、オンラインでの入会コースが順調に軌道に乗り、多くの新規会員の皆様にご加入いただきましたこと、大変嬉しく存じます。これもひとえに、会員の皆様のご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。

また、現在事務局では、さらなる業務効率化を目指し、様々な取り組みを進めております。

これにより、迅速かつ丁寧な対応ができる体制を整え、会員サービスの充実に繋げてまいりたいと考えております。

2025年も引き続き、会員の皆様にとって有意義な研究会活動を支えられるよう、事務局一同一丸となり努めてまいります。

何卒、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

一般社団法人 日本床矯正研究会 会報 2025年2月17日発行 2021年第1号 通巻第10号
一般社団法人日本床矯正研究会は法人格を有する歯科医師の団体です

一般社団法人 日本床矯正研究会

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町3-14 市ヶ谷ガーデンテラス 2F

FAX: 03-4496-4418 メールアドレス: info@jsro.jp HP: <https://jsro.jp/>

